

プロセスマイニングのご紹介



目次

- | | | |
|---|----------------|------|
| 1 | 会社概要 | P3~ |
| 2 | DXとプロセスマイニング | P9~ |
| 3 | プロセスマイニングの基本機能 | P19~ |
| 4 | ケーススタディ | P30~ |
| 5 | サービスのご紹介 | P35~ |

1.会社概要



会社概要

会社名	株式会社RPA NEXT
設立日	2017年10月
資本金	5,500万円（資本準備金含む）
主要株主	小林 隆洋
役員	代表取締役 小林 隆洋 取締役 近藤 克彦
所在地	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-2-1 KANDA SQUARE11F
事業概要	RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）関連事業 プロセスマイニング関連事業

事業目的

「デジタルトランスフォーメーションの推進と、新しい働き方の実現」

新型コロナウイルスをはじめとした市場経済の大きな変化と、これに順応しつつ業務プロセスの変革を早期に実現せざるを得ない企業のニーズが高まっています。

そのような時代背景において、当社では、RPAやプロセスマイニングなどの最新テクノロジーの提供を通して、企業のDX推進と新しい働き方の実現を目指します。

企業のDX推進



- 経営課題の把握/解決
- 業務プロセス改善と自動化による生産性向上、コスト削減
- 事業リスク回避（新型コロナウイルス対策）
- 企業競争力強化

新しい働き方の実現



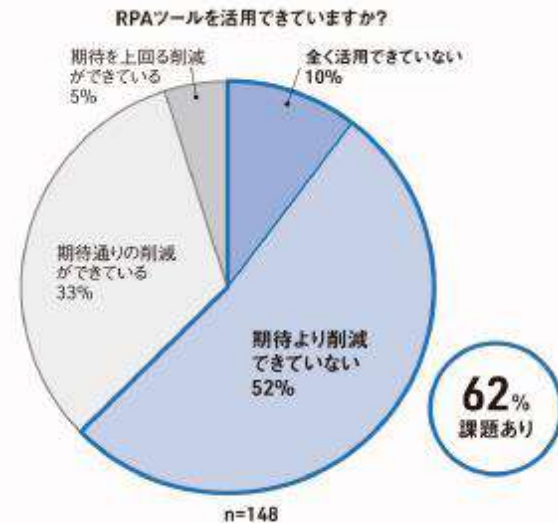
- 単純業務の自動化による高付加価値業務へのシフト
- リモートワークの普及
- 副業・複業の普及
- 仕事に恵まれない方の雇用機会創出
- 労働人口不足の解決

RPAを中心に企業のDXを実現

RPAのプロとして、2年間で**100社を超える企業**へRPAを導入してまいりました。
失敗事例が多いRPAですが、当社のクライアントは、**全企業で目的の達成と運用の継続**を実現しています。

大手通信系企業	大手人材関連企業
大手金融機関	大手飲料メーカー
外資系アパレル企業	大手製造系メーカー
大手保険グループ企業	大中小公的機関

など100社以上

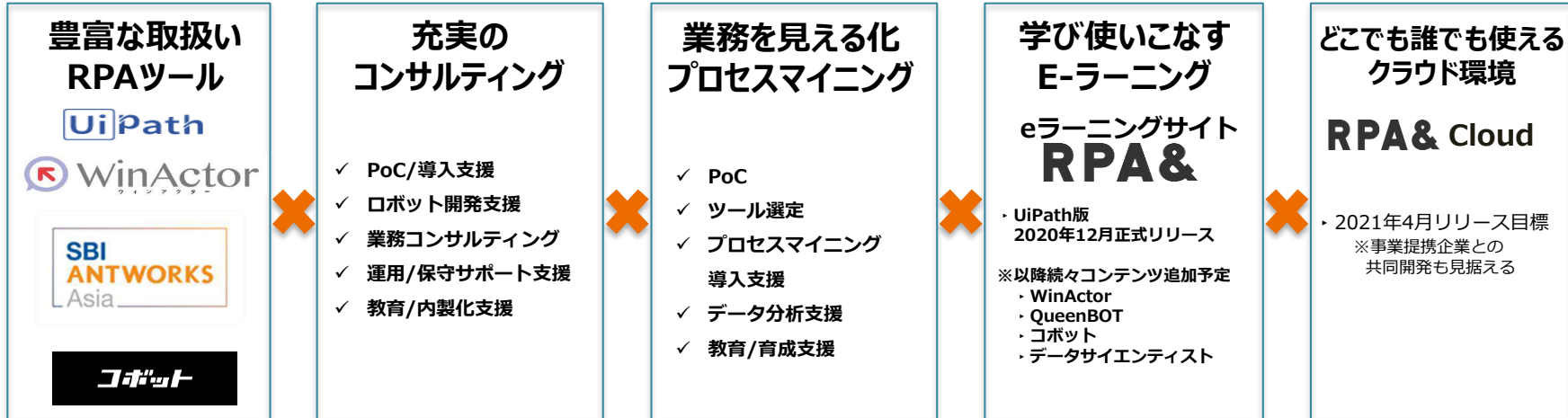


「絶対失敗しない！ ロボット1000体を導入してわかったRPA成功の秘訣」より引用

RPAのすべてが揃う RPA統合プラットフォームサービス「RPA &」

RPA成功に必要なリソース・ノウハウが全て揃っています。
お客様の目的に即して、必要なサービスを最適な組み合わせでご提案します。

RPA統合プラットフォームサービス RPA &



RPA×テクノロジー=付加価値の提供

- 先進テクノロジー技術を保有した経験豊富な人材が、お客様が必要とされている業務改善に関するRPA+aの付加価値を提供いたします。
- 取り扱っているRPAツールは4種類。RPAと相性の良いプロセスマイニング/タスクマイニングも取り扱っており、短時間&低コストでの導入を実現しています。

RPA



プロセスマイニング



2.DXとプロセスマイニング



時代背景

新型コロナウイルス流行に端を発し、政府、企業、生活者の生活様式が大きく変わりました。その中でもワークスタイルの変化は著しく、出社が当たり前であった従前からテレワークが普及することで、会社としての在り方が大きく変容してきています。

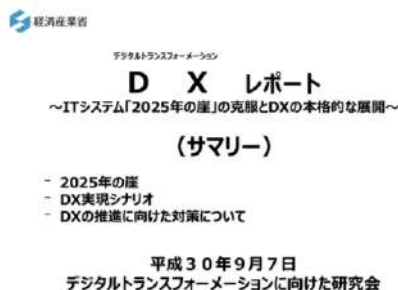
急速なデジタル化が求められる

デジタル庁の新設



菅総理大臣は職員への訓示で「新しい成長戦略の柱として、わが国の社会経済活動を大転換する改革だ」と述べ、来年の通常国会に必要な法案を提出するため準備を加速させるよう指示しました。(NHK)

DXの推進、加速化



新型コロナウイルス流行以前より、レガシーシステムの老朽化やIT人材不足に対する問題が叫ばれていました。今回のコロナウイルスの流行を受けて、今後一層加速していくことが見込まれます。

テレワークの普及



東京オリンピックに向けてもとよりテレワークの普及が推進されていたことに加えて、新型コロナウイルス流行により、テレワークを実施する企業が急速に増えてきております。

Withコロナで変わる働き方

- 新型コロナウイルス全盛の中で「働き方」も大きな変化の時を迎えています。世の中の変化 = **ビジネスチャンス**と捉えて各企業/業界が様々な動きを見せています。

オンライン会議

ZoomやTeamsなどのオンライン会議システムが急速に普及。

会議だけではなく、オンライン飲み会やオンライン研修などコミュニケーションツールとしての活用が加速している。

通勤の変更

満員電車を回避する必要性から、

- ・ 時差通勤
- ・ 不定期通勤
- ・ 自転車通勤

など様々な形態の通勤体系が生まれ、それに付随するサービスの需要が伸びている。

例：レンタル自転車
自転車保険など

雇用の変化

有効求人倍率の大幅な低下や完全失業者数の大幅増加が社会問題化。現在は氷山の一角と言われており、今後2021年3月期決算に向けた計画倒産の増加などが懸念されている。

2019年の売り手市場から完全な買い手市場への移行が完了しており、無期雇用のニーズが一層高まる。

テレワークの拡張

在宅勤務を推奨する企業の増加に合わせて様々なテレワークツールや業務監視ツールのニーズが増加している。

また企業は「在宅勤務手当」の制定やセキュリティポリシーの見直しなど、これまでになかった社内制度の整備や設備投資を迫られている。

オフィス需要変化

在宅勤務の増加を受けて企業のオフィス需要に大きな変化が出ている。

プライベートオフィスを減少/廃止し、レンタルオフィスや貸し会議室またリスクヘッジとして地方への本社移転など対応を模索する企業が急増。

IT系企業が多い渋谷、五反田地区ではコロナ前との比較で20%程度家賃が下がった物件も。

新型コロナウイルスによる働き方の変化とDX

従来の「働き方」の定義が大きな変化を見せている中で
各企業は様々な対応を迫られています。

今後Withコロナに対応する働き方がスムーズに市場に定着し、
さらに発展をする上で先進技術の活用は不可避であり、
DX (Digital Transformation) の浸透が不可欠です。

DX (Digital Transformation) とは

昨今よく耳にするDXですが、正しい定義は下記となります。
DXは**単純に既存業務をシステム化することではありません。**

DX (Digital Transformation) の定義／経済産業省

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること

DX (Digital Transformation) の提唱

2004年にスウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授によって提唱された概念でその内容は「進化し続けるテクノロジーが人々の生活を豊かにしていく」というものでした。

「デジタル変革」とも訳されるDXですがこの分野のイノベーションと合わせることで既存の価値観や概念を大きく越えた変革を起こすことを期待されている概念です。

DX実現に向けた3ステップ

- DX実現に向けて、テクノロジーを自社ビジネスに取り入れていくためにステップを踏んでいくことが大切です。
- まずは、**デジタルで情報や業務を運用するための準備**が必須です。

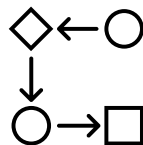
情報のデジタル化



デジタルで情報を扱える

- 紙をデータに変換する
- 手入力をデータ連携する
- 人の感覚をルール化する

業務のデジタル化



デジタルで業務を運用する

- 基幹システムの利用
- 業務アプリケーションの利用
- AIやRPAの利用

デジタルトランスフォーメーション



デジタルにより事業変革・価値創造

- シェアリングエコノミー
- テレワーク
- サブスクリプション

効率化を推進するためのポイント

- DX実現に向けた前準備を進める上で、下記のポイントを抑えていくことで、効率的かつ効果的に推進することが可能です。

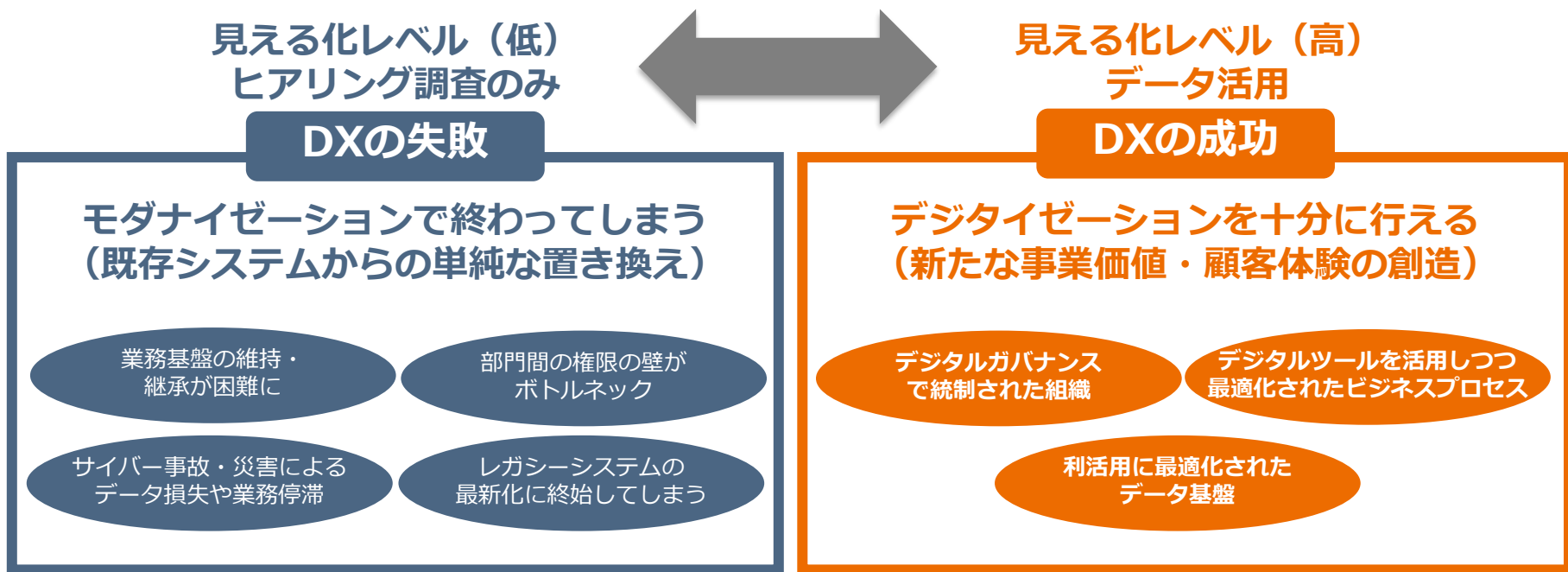
ポイント1
正しい現状把握
見える化

ポイント2
適切な対応方法
の選択

ポイント3
従業員が自発的
に動ける環境

正しい現状把握・見える化

- DX実現に向けて、自社業務が**現在どのような状態になっているのか**を把握することが必要です。既存システムの活用方法や業務自体が見える化できているレベルをどれだけ高めることができるかが、DXの成功に直結します。



適切な対応方法の選択

- データを全て見える化することで、デジタル化に向けてどのような対策が必要か、課題を明確に「見える化」されます。「見える化」ができているからこそ、**適切な対応方法を選択**し、それらツールや設計、運用を適切に行うことができます。

自動化

仕事の高度化・効率化

紙廃止

優先度の低い仕事は、
廃止か簡素化

電子化

紙の運用を減らしデー
タ収集、一元化

情報共有化

共有フォルダへの利活
用による効率化

標準化

仕事の属人性を排除

集約化

仕事のタスクをBPO化
(外部化)

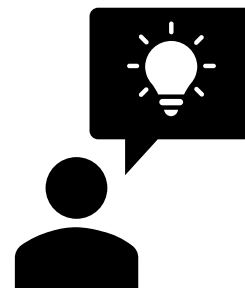
「見える化」から、従業員が自分で動ける状態へ

DXを推進する人材不足を解決する上で、データを見える化することにより、従業員が各自の業務データを用いて、新しいビジネスや効率的なプロセスを生み出していけるような状態にすることが必要です。

業務の見える化データ
無意識になっている部分を意識化する



自身でデータを活用し、
新しいビジネス・新しいプロセスを
生み出していける



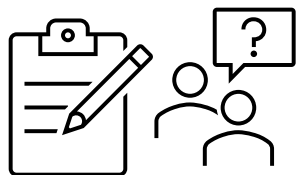
3.プロセスマイニングの基本機能



見える化のレベルを高めるプロセスマイニング

見える化のレベルを高め、業務改善プロジェクトを「**短期間**」で「**最大効果**」を実現するツールとして、プロセスマイニングが注目されています

今まで

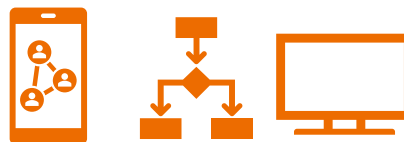


コンサルや自己申告

主観的・部分的

1回限り、時間がかかる

プロセスマイニング



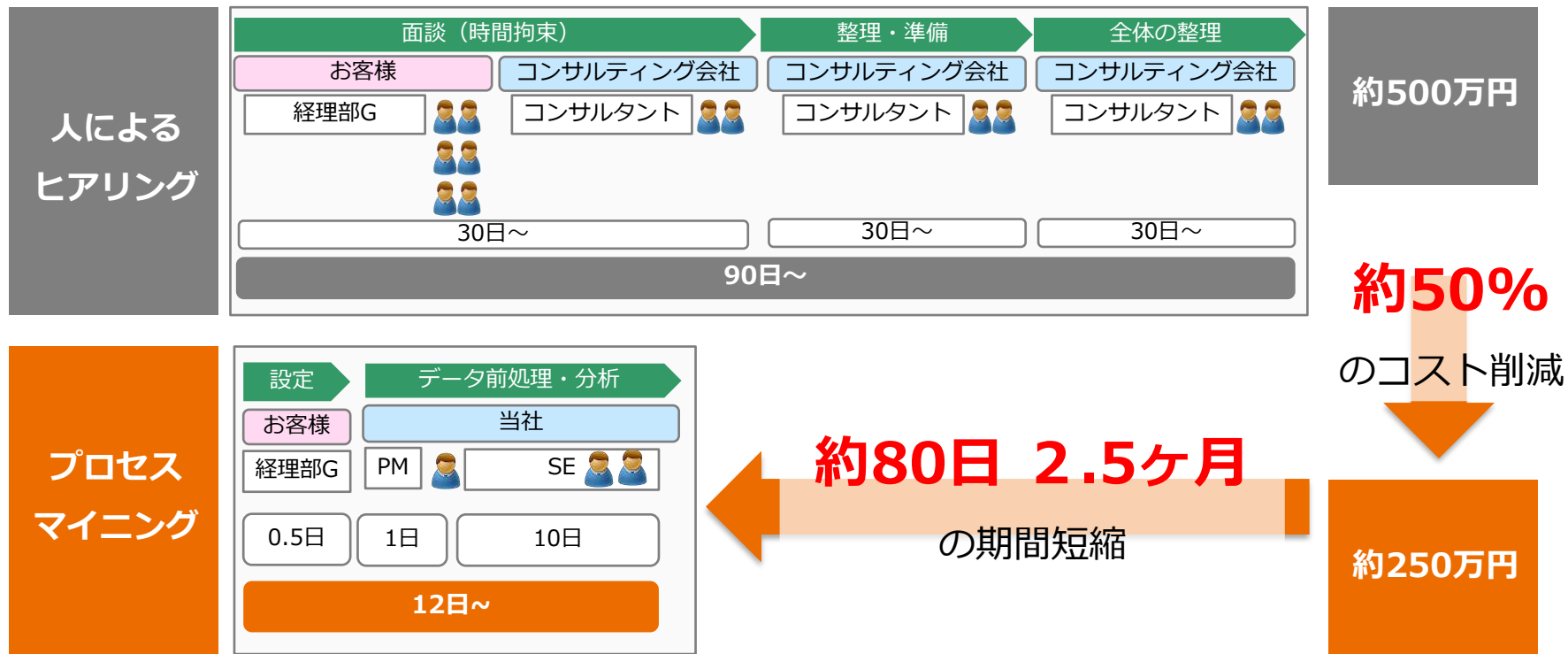
システムで自動

客観的・全体的

継続的、リアルタイム

プロセスマイニング有無によるコスト・期間比較例

経理部門、経理担当6名を対象とした業務調査プロジェクトの例です。



プロセスマイニングとは

企業の社員PCやシステムなど、使用しているアプリ、ファイル、キーストローク等から掘り出した大量のデータを解析し、経営やマーケティング、業務改善に有用な相関関係やパターンを探り出す技術です。その結果を利用して、RPA、BPR、ERPの改善等に役立てることができます。

作業フロー分析

- ・業務プロセス改善
- ・DX
- ・RPA化
- ・ハイパフォーマー分析
- ・高付加価値業務分析

勤務状況分析

- ・長時間労働改善
- ・テレワーク生産管理
- ・ワークライフバランス
- ・シェアードサービス化

データマイニング

ソフト・アプリ利用時間
テキストマイニング
ソフト・アプリ間相関関係
フォルダログ取得
ファイルアクション数取得

ソフト・システム分析

- ・ERPシステム更改
- ・システム更改
- ・システムUI改善
- ・未使用ソフトの統廃合

人材評価

- ・PC操作スキル可視化
- ・生産性把握
- ・プロセス評価

RPA

BPR

ERP

主な機能

プロセスマイニングツールで行うことができる主な機能です。
ツールの種類やタイプによって違いがありますが、機能は下記に集約されます。

基本機能

1. 現状の業務プロセスの分析

2. 業務プロセスの無駄洗い出し

3. 業務プロセスのボトルネックの特定

発展機能

4. 適切なKPIの設定と測定

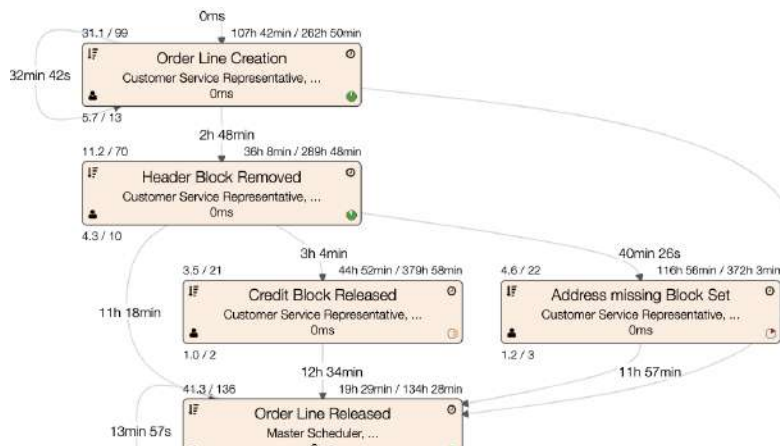
5. プロセスのパターン算出、標準プロセスとの比較

1. 現状の業務プロセスの分析

- 基幹系・情報系システムから取得したログ及びシステムデータを元に、業務プロセスのフロー図を生成することができます。
- プロセスは「頻度(プロセスの回数)」と「数値(プロセス間のリードタイム・各プロセスの処理時間の平均・最大・最小・中央値)」との2つの観点で可視化されます。

数値

プロセス間リードタイム、処理時間



頻度

プロセス回数

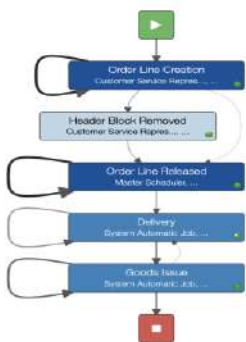


2. 業務プロセスの無駄洗い出し

想定外の業務プロセス・再処理の回数・想定外の人物による業務履歴を可視化することで、コンプライアンス準拠レベルや社内業務標準化の浸透状況の把握が可能になります。

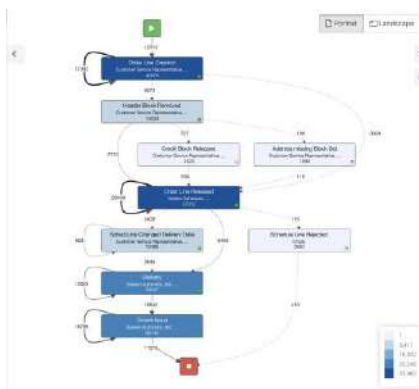
標準プロセス

社内で標準的な業務プロセスを定義し、設定



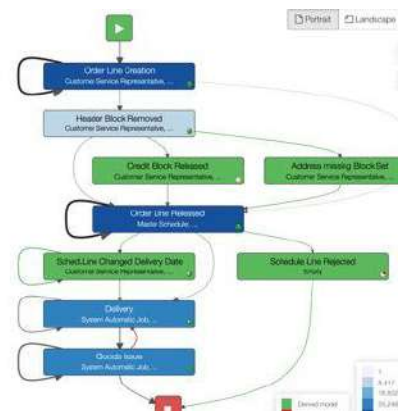
分析結果プロセス

ログファイルから取得した現状のプロセス (as-is) を比較



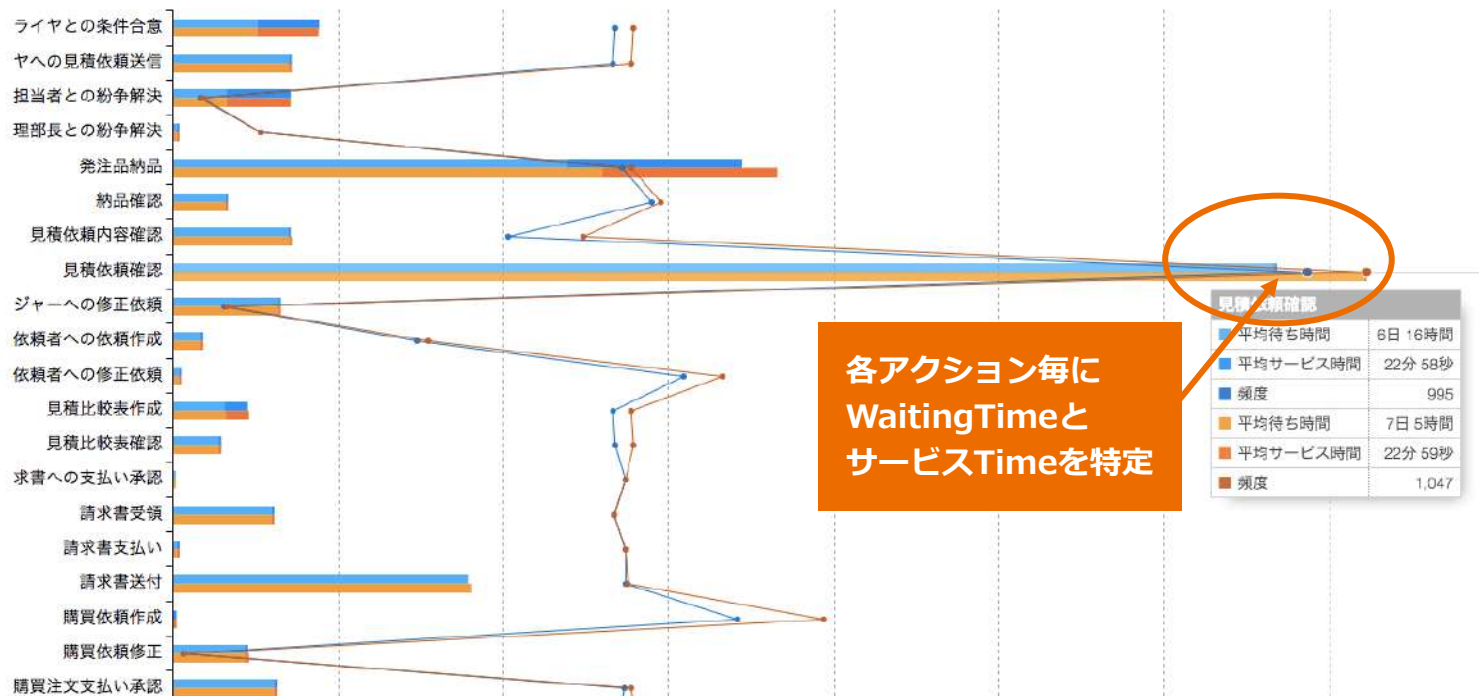
比較 (差異可視化)

乖離部分の可視化及び乖離率をデータとして算出



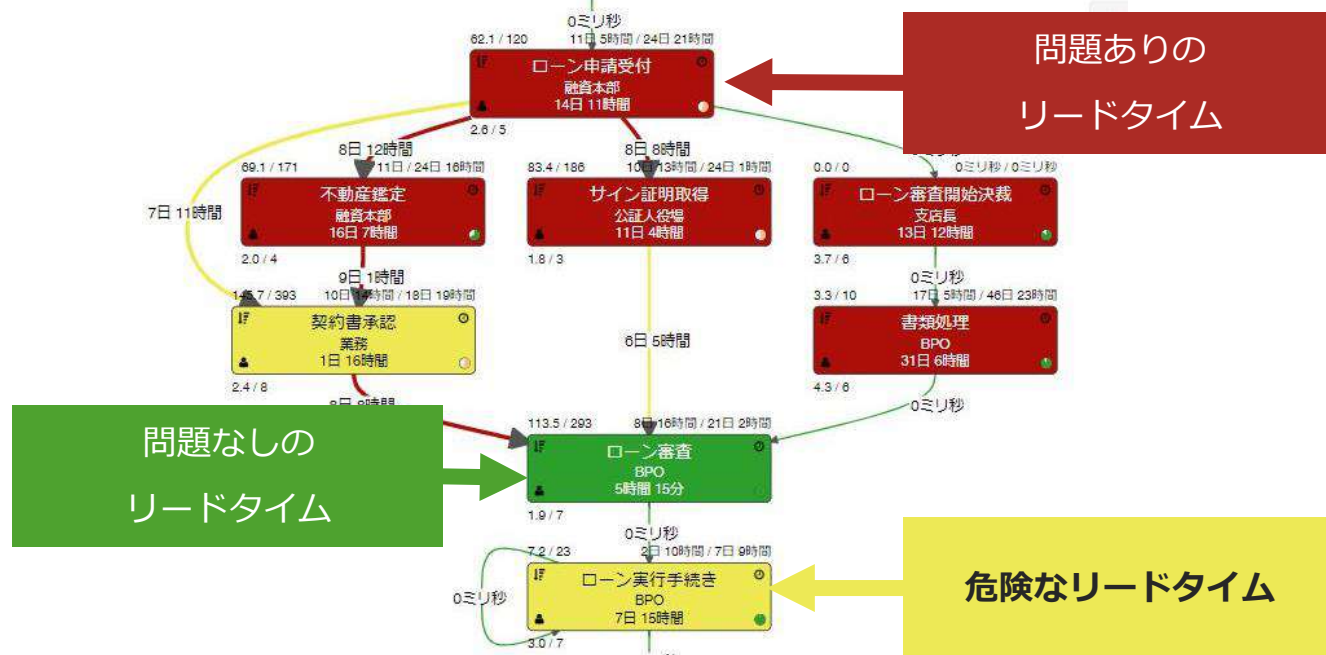
3. 業務プロセスのボトルネック特定

ログから計算されたパフォーマンスのサマリーを表示し、全体プロセスにおけるボトルネックの把握により、業務改善案の立案・社内リソースの最適化を図ります。



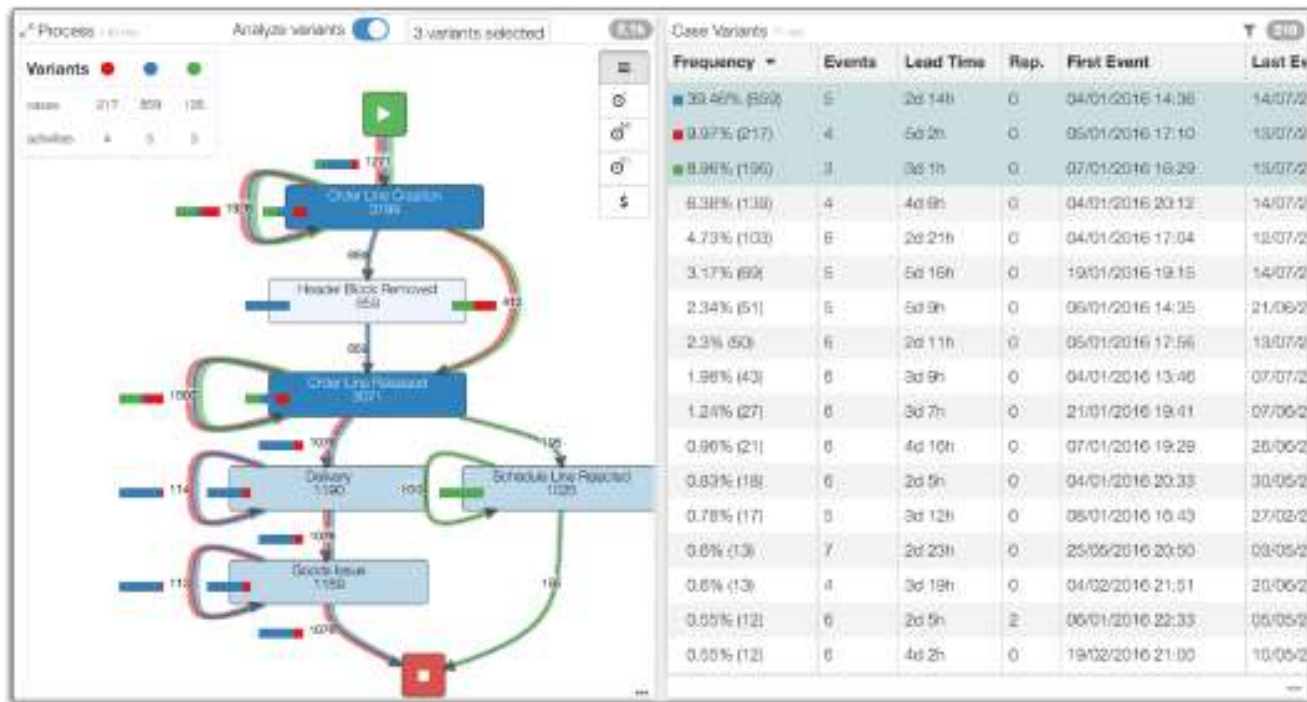
4. 適切なKPIの設定と測定

各業務で定義したKPI(Key Performance Indicator)をパラメーターとして設定することができます。それにより、実データから算出される**目標達成率と部門及び個人のパフォーマンスを容易に可視化**することができます。



5. プロセスのパターン算出、標準プロセスとの比較

業務開始から終了までに行われる業務パターン数の算出を行います。リードタイムが短い効率の良いパターンなどを標準的プロセスとして定義し、想定外処理や冗長処理が発生する「標準から外れる」パターンと比較、非効率処理に要した時間やコストを算出します。



主なプロセスマイニングツール

国内で販売されているツールの一覧です。

製品名	myInvenio	ProcessMinin g	CONTROLIO	Process Discovery	MeeCap	D-Analezer
会社名	ハートコア(株)	UiPath(株)	ハートコア(株)	SBI AntWorks Asia(株)	(株)MeeCap	(株)テンダ
種別	プロセスマイニング		タスクマイニング			
価格	¥9,600,000- /年	¥2,500,000- /年	¥25,000-/ 年・1名	※調整中	※調整中	¥400,000- /3ヶ月
ツリー構造	◎	○	×	△	○	△
プロセス比較	○	?	×	×	△	×
KPI設定	○	○	×	×	×	×

4. ケーススタディ



ケーススタディー一覧

下記の様な企業様のケースをご紹介します。

対象企業	対象部門・業務	目的
大手銀行	経理部門・出納業務	SAP (ERP) 導入に際して、システム開発とExcelでの手作業を最小限にしたい
大手飲料メーカー	営業事務部門・請求管理業務	テレワークで行える業務、社内で人が担う業務、RPAが担う業務に業務の再区分・再分配をしたい
大手保険	営業事務部門・請求管理業務	RPA導入に並行して、標準的な業務フローを構築したい

導入実績①ERPの導入効果最大化プロジェクト

対象企業

大手銀行（売上：1兆円、従業員数：8,000人）

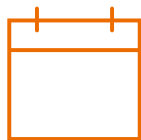
対象部門・対象業務

経理部門・出納業務

プロジェクト目的

SAP（ERP）導入に際して、システム開発とExcelでの手作業を最小限にしたい

2ヶ月短縮



- 業務ヒアリングの時間が短縮し、導入期間がベンダー提案から**2ヶ月短縮**

30%削減



- システム化する部分が明確になったため、Excelでの作業時間が**30%削減**

50%削減



- 標準業務フローが構築されたため、非定型業務への対応時間が**50%削減**

導入実績②テレワーク対応における業務調査プロジェクト

対象企業	大手飲料メーカー (売上：1兆2千億円、従業員数：8,500人)
対象部門・対象業務	営業事務部門・請求管理業務
プロジェクト目的	テレワークで行える業務、社内で人が担う業務、RPAが担う業務に業務の再区分・再分配をしたい

30%削減



- RPA化により約**30%の業務が自動化**された

8割テレワーク



- スタッフの**8割がテレワーク**を実践できるようになった

導入実績③RPA導入&業務標準化プロジェクト

対象企業	大手保険（売上：2兆円、従業員数：30,000人）
対象部門・対象業務	営業事務部門・請求管理業務
プロジェクト目的	RPA導入に並行して、標準的な業務フローを構築したい

50%削減



- ・ 繰り返し行っていた業務や逸脱してるプロセスを半減できた

10名→7名



- ・ 通常**10名で行っていた業務を、7名で行うことができるようになった**

5.サービスのご紹介



提供サービス

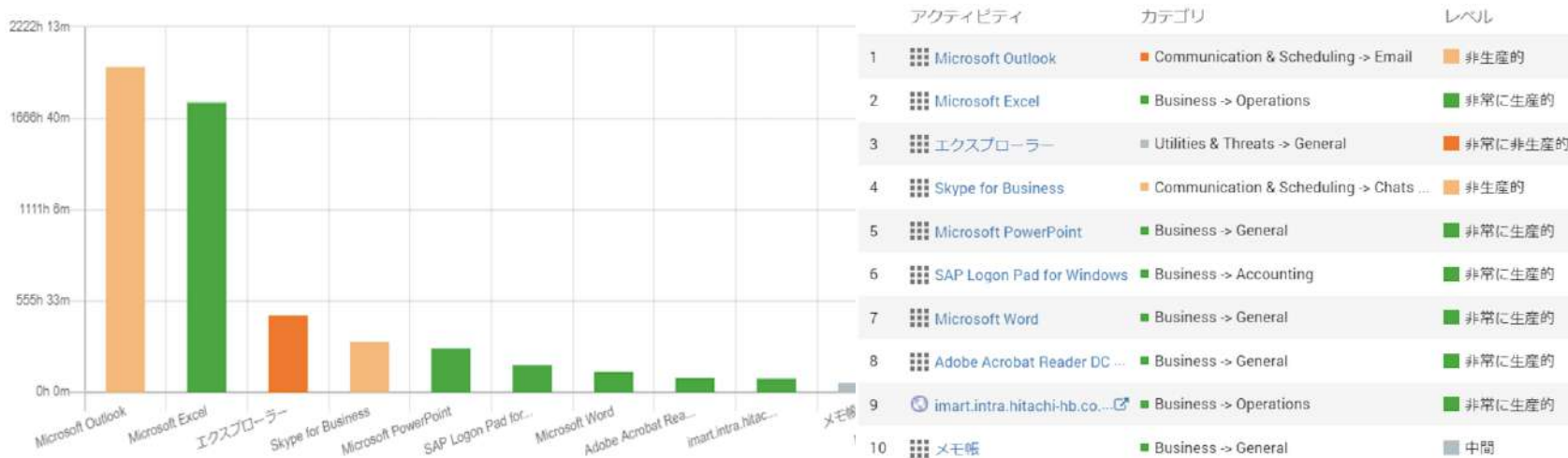
ツール検討から導入、改善実行、内製化まで、様々なフェーズのお客様にサービス提供をしております。ご要望をお伺いし、ご提案させていただきます。

	PoCサポート これから導入をご検討するお客様	導入支援 ツールを正しく導入したいお客様	業務改善コンサル 改善までサポートが欲しいお客様	研修 自社内で使いこなしたいお客様
概要	中期計画やプロジェクト計画に向けて、導入目的の検討から、特定部門やプロセスにおけるプロセスマイニングの実施、ツールの検討までをご支援いたします。	プロセスマイニングは正しく導入しなければ成果は生まれません。ツールの設定から、データ分析など導入に必要なタスクを網羅的にご支援いたします。	プロセスマイニング後の業務改善を支援いたします。データ分析結果のレポート作成や、改善実行の具体的な施策までご提案、実行いたします。	導入後、自社スタッフで継続的な改善実行を進めていけるよう、ツールの利用やデータ加工・分析方法の研修を実施いたします。
実施内容例	<ul style="list-style-type: none"> 導入目的の検討・精査 特定部門や業務におけるプロセスマイニングの実施 導入に向けた目的・スケジュール策定 ツール導入・設定 	<ul style="list-style-type: none"> 最適なツールのご提案 対象プロセス・体制選定 スケジュール、予算設定 分析対象項目の選定 PC操作ログ、システムログ取得 作業マニュアルの作成 	<ul style="list-style-type: none"> データ抽出、ログデータ整備 課題解決手法の立案 効果測定 コスト試算 内製化体制提案 RPAによる業務自動化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ツール研修 下記ツールの使い方研修 <ul style="list-style-type: none"> ・タスクマイニング ・プロセスマイニング ■マイニング研修 データ加工～分析するまでの研修 <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンティスト（データ加工） ・ビジネスアナリスト（分析）

成果物例①：アクティビティ別利用時間レポートの作成、分析

どのようなアプリケーションがよく利用されているのか、アクティビティ時間を計測し、分析いたします。全体の数値を俯瞰した結果から、改善の重点を突き止めます。

Outlook(31.5%)とExcel(28.0%)のアクティブ利用時間が突出しています。次いでエクスプローラー(7.4%)、Skype(4.9%)、PowerPoint(4.3%)。プロセスマイニング分析の対象となり得るシステムの利用時間は、6位のSAP Logon Pad(約289時間)や9位のimart.intra(約121時間)が多い結果となった。



成果物例②：業務プロセス図の作成、分析

分析対象者のログデータを分析し、現状の業務プロセス図を作成いたします。
またその際に、作業時間がかかっている原因になる箇所などをあわせて分析・報告いたします。

■ 2020/08/06

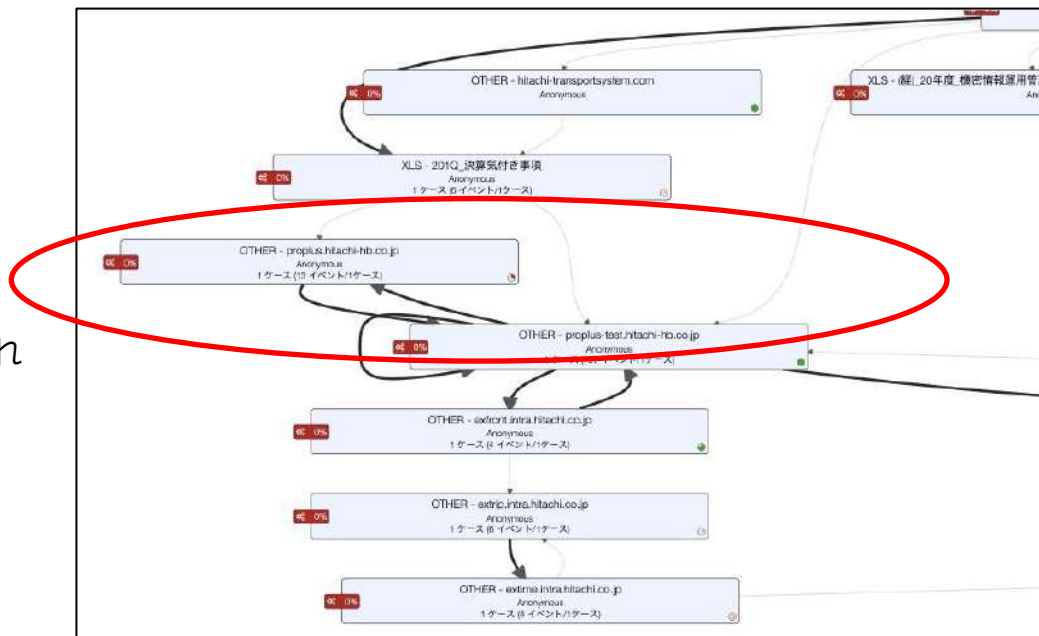
ペースト操作を合計127回を行っている。

■ アクティビティ

固定資産管理システム リース資産申請メンテナンス(自動判定入力)

■ 概要

固定資産システムへ繰返しデータ投入が行われている。その後xxへの繰返し処理を行っている。



成果物例③：アプリケーション間の相関関係図の作成、分析

利用しているアプリケーション間の相関関係を分析することで、システム間連携の検討や、作業の重複の発見をすることが可能です。

活用例：アプリ相関関係の頻度を分析

①基幹系システムにどのアプリから操作が多く発生しているのか

②業務システムの利用頻度分析によるシステム間連携による操作性の更なる向上分析

切替前	切替後	基幹系システム	PowerPoint	Excel	Word	Outlook	Adobe	Print Driver	業務システムA	業務システムB	業務システムC	業務システムD	業務システムE	業務システムF	総計
基幹系システム		5041	3259	987	659	745			43		22	15	79	47	10893
PowerPoint		6030	4327	803	438	533	367		120	289	79		47	21	13054
Excel		5888	4940	567	433	322			211	21	20	4			12417
Word		2669	2311	2014		774	697		322		10	67	43	33	8827
Outlook		774		433	321		469		120	400				15	3360
Adobe		312		325	245	366		877		90			56		2281
PrintDriver		4		3											1248
メモ帳		2		5							21	34			602
業務システムA		1		4							32	45	2	45	1555
業務システムB		255	321		325		15		30		67	77	32	30	1152
業務システムC			23	14	10	23	29	32	130	54		21		14	350
業務システムD		89	41	19	40	211	50	32	233		54		14	23	806
業務システムE		57	91	40		46				12	33	20		7	306
業務システムF		30	24	23	28	77	56		130			4	3		375
総計		16833	13898	10799	3714	3294	3583	1630	1128	1125	350	303	280	235	57172

36362

全体の63.6%に絞って分析

弱

<

中

<

強

成果物例④：ファイル、フォルダ利用レポート作成、分析

利用者別にファイルやフォルダがどのような作業で使われているかなどを分析します。
無駄作業が発生しているExcelや無駄のないフォルダ構成を企画することが可能です。

■ファイル利用分析

新規作成、リネーム、移動、削除、コピー、の回数をユーザー別で示した。

ユーザー名	Create	Rename	Move	Delete	Copy
****様	752	292	62	490	217
****様	179	41	15	162	58
****様	9	10	8	28	6
****様	902	371	72	365	44
****様	443	470	220	283	15
****様	70	14	12	67	9
合計	2355	1198	389	1395	349

■フォルダ構成分析

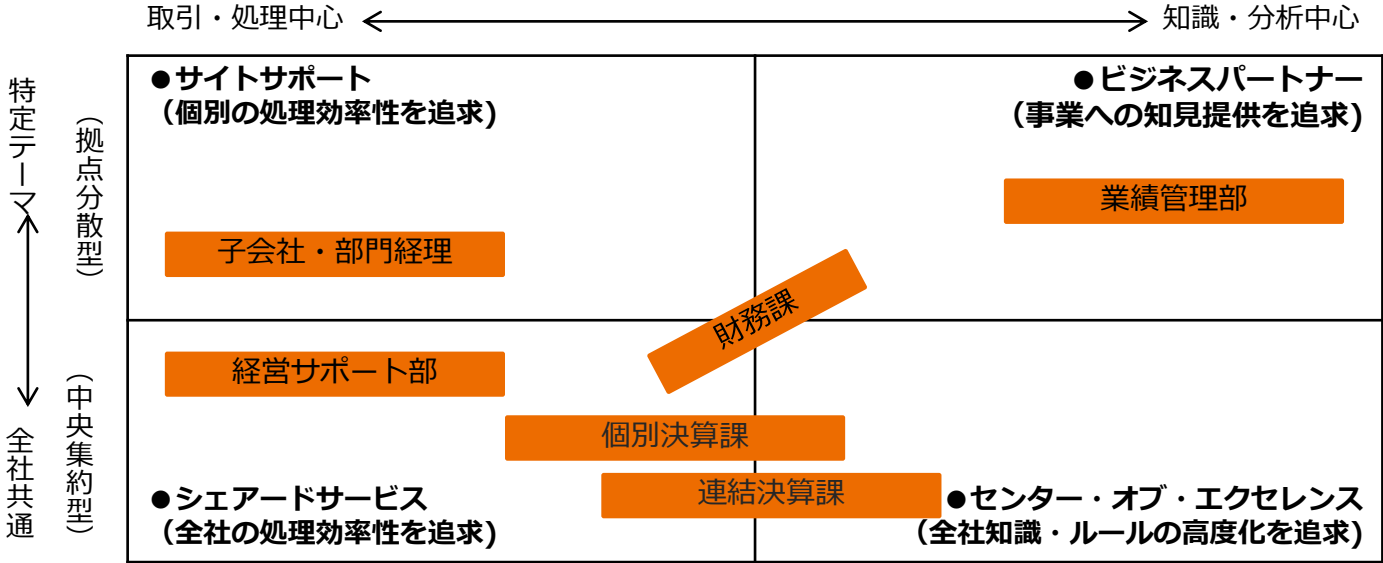
ファイルログで取得したフォルダ構造を階層で示した。
合計数が100以上のフォルダのみを表示。

	Delete	Rename	Create	Move	Copy	合計
62290_users	461	883	1130	230	0	2704
622-経理	452	883	1126	229	0	2690
001_個別決算	442	870	1105	223	0	2640
001_月次決算	403	799	980	205	0	2387
101_固定資産	115	170	252	46	0	583
103_管理費記載	39	32	73	10	0	154
4.仕訳_月次決算	52	38	72	3	0	165
106_賞与・退職引当(システム)	49	31	70	3	0	153
20年度	5	61	41	13	0	120
20年度	5	61	41	13	0	120
002_四半期決算	231	300	400	58	0	989
期末決算	230	300	400	58	0	988
◆HFM元資料他	108	68	92	8	0	276
★20年度	17	62	87	6	0	172
201Q	17	62	87	6	0	172
20① 20年度1Q	108	213	281	46	0	648
202_リース	51	38	121	9	0	219
209_会計士渡し	23	46	49	16	0	134
003_年次	20	73	127	4	0	224
307_関連当事者との取引	8	52	106	1	0	167
20年度_関連当事者との取引	8	50	104	0	0	162
1.営業取引・営業	2	45	57	0	0	104
005_特殊案件	29	223	149	90	0	491
601_ロイヤリティ	24	113	81	22	0	240

成果物例⑤：データから見る組織役割の分析

実際に作業しているデータを元に、部門や課が、組織内でどのような役割をしているのかを分析いたします。

- CFO組織である****本部の中で、****Gはサイトサポート、シェアードサービス、センター・オブ・エクセレンスという複数のミッションを負っていると推定される。
- サイトサポートおよびシェアードサービスの領域においては、潜在的に効率化余地があると推定される。



成果物例⑥：所属社員の役割分析

実際に作業しているデータを元に、所属社員が、組織内でどのような役割をしているのかを分析いたします。

- 定型業務かつ時間数の長い人件費・リース・固定資産・ブランド関連業務は、効率化の余地を検討する。
- 伝票検収についても、承認・修正作業が大量にあると考えられるため、効率化の余地を検討する。

メンバー	タスク・時間の傾向	定型/非定型	役職・キャリア推定	担当推定	課題仮説の検討方向性
* * * * 様	<ul style="list-style-type: none">● 明確なタスク見えにくく、時間数が短い。	-			<ul style="list-style-type: none">● (対象外)
* * * * 様	<ul style="list-style-type: none">● 打合せ等、決算外業務が多い。	<ul style="list-style-type: none">● 非定型業務中心	<ul style="list-style-type: none">● G長	<ul style="list-style-type: none">● 統括、非定型業務	<ul style="list-style-type: none">● 非定型業務が多いが、人件費関連タスクは定型業務で時間が長いので効率化余地を検討する。
* * * * 様	<ul style="list-style-type: none">● 伝票検収、問い合わせ対応が多い。	<ul style="list-style-type: none">● 定型/非定型ミックス	<ul style="list-style-type: none">● G長補佐● キャリア長い	<ul style="list-style-type: none">● 伝票検収● 問い合わせ対応	<ul style="list-style-type: none">● 伝票検収(承認・修正)効率化の余地を検討する。
* * * * 様	<ul style="list-style-type: none">● リース関連業務が多い。	<ul style="list-style-type: none">● 定型業務中心	<ul style="list-style-type: none">● 中堅	<ul style="list-style-type: none">● リース担当	<ul style="list-style-type: none">● リース関連業務は定型業務かつ時間が長いので、効率化の余地を検討する。

成果物例⑦：業務改善施策の提案

分析結果を元に、具体的にどのような改善施策を実行可能かをご提案いたします。

- ***工事資産計上を除き、固定資産税・リース・ブランド料・人件費・投資の領域では、標準化・電子化・自動化の対応策が考えられる。
- 事実確認および課題認識の精緻化のため、プロセスマイニング/タスクマイニングツールでの追加検討が必要であると考えられる。

領域	プロセス	頻度	担当者	確認された事実	課題仮説	対応策案
固定資産	• ****の資産計上	One time	**様/ **様	• 工事につき、34個のExcelファイルで作業を実施していた。	• ****につき、手作業での分解、資産計上を行っていた。	• (One timeの取引なので、対応しない)
	• 固定資産税の費用計上	四半期	**様/ **様	• 固定資産税につき、50個のExcelファイルで作業を実施していた。	• 各自治体の税額につき、メールでのファイル受信・手作業での集計・計算を行い不効率である。	標準化 • 各社から受領するフォーマットを統一する
リース	• リース資産負債計上と開示情報提出	四半期	**様	• リースにつき、161個のExcelファイル、19個のZipファイルで作業を実施していた。	• 各リース会社数値につき、メールでのファイル受信・手作業での集計・計算を行い不効率である。	電子化 • もし紙資料を受領している場合には電子化する。
ブランド	• 利用料計上	四半期	**様/ **様	• 利用料につき、49個のExcelファイルで作業を実施していた。	• 各社利用料につき、メールでのファイル受信・手作業での集計・計算を行い不効率である。	自動化 • メール受信からフォルダ格納までをRPA化する • 集計、計算をRPA化する

プラン・料金の一例

本料金は、標準的な料金となります。詳細の料金は、ご提案の上お見積もりいたします。

プラン名	実施サービス				導入ツール	料金例		
	PoCサポート	導入支援	業務改善 コンサル	研修		プレミアム (~100台)	スタンダード (~50台)	ライト (~10台)
						大企業向け	中小企業 各部門向け	中小企業 ユニット向け
おまかせプラン	●	●	●	●	タスクマイニング プロセスマイニング	6ヶ月 1,200万円	3ヶ月 650万円	1ヶ月 300万円
業務改善プラン	●	●	●		タスクマイニング プロセスマイニング	6ヶ月 1,150万円	3ヶ月 600万円	1ヶ月 250万円
RPA支援プラン	●	●	●		タスクマイニング	6ヶ月 750万円	3ヶ月 400万円	1ヶ月 150万円

お試し診断プラン

まずは、試しにやってみたい！というお客様向けのプランです。

お試し診断	1名の方を対象にタスクマイニングを実施します。 マイニング後の分析から改善策の提案まで行います。	1ヶ月 30万円 ※1名あたりの料金です。 ※タスクマイニングツールを利用します。
-------	---	---

ACCELERATING FOR THE "NEXT ERA" WITH DX!
我々は人に、企業にRPAを通じた新しい未来をご提供します。

 RPA NEXT